

令和6年度 学校評価 東小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	(1) 子どもたちの生命・健康・安全を最優先に、防災対策や熱中症・感染症対策、通学路の安全対策等を徹底するとともに、いじめや差別・暴力のない、すべての子どもにとって居場所のある学校づくり【安心・安全】 (2) 家庭・地域と学校が、めざす目標・ビジョンを共有し、ふるさと愛や学び続ける力を育む教育活動に、保護者・地域住民が参画・協働する学校づくり【参画・協働】 (3) 未来社会を切り拓く「生きる力」を身に付けた「自立した学習者」を育むため、授業づくりを工夫改善し、主体的・対話的・協働的な学び、個別最適な学びを創造する学校づくり【自立・主体】 (4) 鼓笛隊など本校の伝統的な教育活動や生郷地域の教育資源を効果的に活用し、学びの充実を図り、子どもたちが学校・地域への愛着や誇り、夢や希望を抱くことができる学校づくり【誇り・継承】 (5) 業務改善を含めた学校課題に対し教職員がチームで組織的に対応し、改善・解決を図り、すべての教職員が心身ともに健康で元気に働き続けられる学校づくり【工夫・改善】
本年度の重点目標	学校教育目標 「ふるさとに誇りをもち 進んで学ぶ 東っ子の育成」 (1) 家庭・地域と学校が連携・協働し、防災対策や熱中症・感染症対策、通学路の安全対策等を徹底し、安全・安心な環境づくりを進める。 (2) 家庭・地域・学校が、対話し、共に汗かき、学びあいを進める「コミュニティ・スクール」を推進する。地域学校協働活動を進める中で、新たな発想や解決策を生み出す組織づくりを構築する。 (3) 個別最適な学び、協働的な学びを充実し、児童一人一人が主体的に学びに向かう力を育成する。自ら課題を解決する能力を育成するための授業改善を図り、個別最適な学びの実現を目指す。 (4) 児童一人一人に寄り添い、内面理解を深め、人間的なふれあいを通した思いやりのある関係づくり・絆づくりに努め、「いじめ・暴力ゼロ」「不登校ゼロ」をめざす。医療・福祉等関係機関や専門家と連携し、いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応の生活指導の充実、児童支援体制及び教育相談体制を確立する。 (5) 児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実し、安心して学べる教室環境や個に応じた指導の充実を図る。 (6) 本校の伝統や地域の教育資源を活かした特色ある教育を進める。「鼓笛隊」活動や国際交流事業、「ミニ・トライやる」活動や「水分けフィールドミュージアム」の活用等地域を学び場にした体験活動を通じて、キャリア教育や外国語教育、ふるさと教育、防災教育、環境教育等の充実を図る。 (7) 学校業務の見直しや効率化を積極的に進め、業務改善及び勤務時間の適正化を図り、教職員が心身ともに健康で働き続けられる環境づくりを推進する。分かりやすい授業づくりや児童一人一人にゆとりを持って向き合う時間など教職員が本来業務に集中できる時間を確保し、教育の質の向上を図る。

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	地域とともにある学校	- 学校ホームページ等や防災無線での積極的な情報発信 - コミュニティ・スクール（東小コムスク）の円滑な推進	A	学校運営協議会、地域学校協働活動推進員、PTA、自治振興会等との連携・協働により、運動会、音楽会、東っこパワーアップフェスティバル、防災事業等の学校行事及び鼓笛活動において、地域とともにある教育活動の充実を図っていくことができた。学校ホームページにおいては、週に1回の内容更新を目標に、児童の様子や学校の取組を積極的に情報発信していくことに努めた。今後も、学校を核とした地域参画による教育活動・地域魅力の活性化を図っていくために、東小コムスクの周知・啓発をはじめ、各関係機関の連携体制の充実を図っていく。
	危機管理	- 通学路の安全対策等危機管理意識の向上 - 安全安心な居場所(学校・学級)づくり	B	児童の安全を第一に、学校教育活動に取り組むことができた。日々の防災無線放送、「セーフティー東っ子」の配付、メール配信等を通して家庭・地域と連携し、登校の安全確保や災害に備えた取組が図れた。日々の安全指導に加えて、警察官による防犯教室や、地域と連携したメモリアル集会、キッズ防災検定等に取り組み、自分自身の安全を守ろうとする態度の育成に努めた。引き続き、家庭・地域との連携を密にし、安心安全な学校づくりを推進していく。
教育課程	指導方法の工夫改善	- 児童の主体性の向上を目指す授業づくり - 基礎基本の学力の保障 - 個別最適な学びと協働的な学びの充実	B	子どもたちが自立して主体的に学習に取り組めるように、「探究的な学び」や「自由進度学習」を取り入れ、授業改善を進めた。その結果、「すぐにわからなくても、友だちの考えを聞いたりくり返し練習したりして、取り組めたと思う」と肯定的に回答した児童は約90%おり、粘り強く課題解決に取り組むことができた。また、朝のスキル学習や計算検定等の組織的な取組により、基礎基本の学力の定着を図った。さらに、タブレット端末を授業で積極的に活用することで個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実につながった。今

				後はさらに、基礎基本の学力の定着を図りつつ、児童が自ら学習を調整しながら主体的に取り組むことができるような授業づくりと、家庭と連携し個に応じた指導を行っていく。
	特 色 あ る 教 育	・ふるさと教育 鼓笛学習 国際交流 ・キャリア教育	A	鼓笛活動があることで、困難なことにぶつかってもあきらめない心、友だちと支え合う力、周りの人への感謝の気持ちが育っている。また、地域のイベントや学校行事でステージに立って演奏し、たくさんの拍手をもらうことで、児童の自己肯定感が高まってきている。下級生は上級生の姿を見たり演奏を聴いたりすることで、あこがれの気持ちを持ち、鼓笛隊の伝統を受け継ごうとする態度が育っている。保護者や地域の方に応援していただける鼓笛隊として、今後も活動を充実していく。
課題 教育	特 別 支 援 教 育	・互いのよさを認め合える関係づくり ・保護者との連携・協働 ・児童・保護者への啓発	B	特別支援学級や、医療的ケア児について、職員研修を通じて児童理解を深めた。全校朝会や入学説明会等で特別な支援を必要とする児童について啓発を行った。医療的ケア児に関しては、年間を通じて保護者や関連機関と連携を取りながら、全職員で共通理解を深めて安心安全な支援体制の構築に努めた。またアイマスク、車いす、手話、エルダー体験等、様々な人への理解を深める体験学習を計画的に実施した。今後も、他者理解や多様性を大切にする教育を推進していく。
	人権 教 育	・人権意識の向上 ・自立向上の精神の育成 ・思いやりの心の育成	B	道徳の時間はもとより、学校生活全体を通して、自分や相手を大切にすることの育成に努めた。人権参観日には、同和問題をはじめとする様々な人権課題について学習し、授業後、家庭でその授業や人権について話し合う「家庭対話」を実施した。挨拶は、月目標や児童会活動を通して熱心に取り組むことができているのでこれからも継続していく。思いやりの心の更なる育成に向け、相手の気持ちに寄り添いながら思いやりのある言葉で話せるように今後も指導を続けていく。

3 学校関係者評価

- ・昨年度のアンケート結果との違いをどうとらえているか。特別支援教育や生活指導、人教育など、教師の評価として昨年度から変化があった部分には何らかの理由があるはずなので、それをしっかりと分析し、来年度に生かしていくことが大切である。
- ・教師の評価であいさつ、言葉遣いの項目はAが0%だった。子どもたちはあいさつをしていない子もいるがしている子もいる。教師がどうとらえているのか。教員の異動により厳しく評価されていることもあるかもしれないが、学校としてあいさつなどの取組をしてこられた成果もあるのではないかな。あいさつについて、できている子、そうでない子がいるかもしれないが、まずは、子どもたちを信用して評価していけばいいのではないかな。
- ・先生と保護者の評価の違いについて考えることが大切である。しつけと教育という部分の違いはあるが、あいさつなどの基本的な生活習慣にかかることは、やはり家庭においてしっかりと教えていくべきだと思う。
- ・評価を児童会や6年生に還していくことがあってもいいのではないかな。児童会の子どもたちが、主体的に学校課題への取組を進めてきたことへの評価にもつながる。
- ・人権教育の視点から考えると、「あいさつをしよう！」と周囲の熱が高まった中で、それでも家庭的な背景などが影響し、その熱に参加できない子もいるのではないかなということも踏まえておくことは大切である。
- ・アンケートのABCDに、どちらともいえない中間の評価を加えてはどうか。

4 次年度の改善の方向性

学校運営協議会(東小コミスク)の主体的な取組により、教育活動の充実と業務改善が図れ、児童も教職員も1年間元気に走りぬくことができた。次年度も、学校関係者評価を踏まえ、①登下校の安全確保等の「安全安心」、②地域住民の参画・協働により学校教育活動の充実を図る「学びの充実」、③鼓笛活動や地域学校協働活動を通して、人・物・事でつながる「地域づくり」を柱に一層進展させる。④自由進度学習の研究を進める中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

学校教育目標である「ふるさとに誇りをもち 進んで学ぶ 東っ子の育成」の実現をめざした特色ある学校づくりを一層推進していく。

令和7年3月19日

学校名 丹波市立東小学校

校長名 藪内大介